

2022 年度中部ブロック研修会活動報告

【日時】 2022 年 9 月 11 日（日） 10：10～12：40

【方法】 ZOOMによるオンライン研修会

【参加者】 26 名（26 名会員）

【内容】

I 活動報告：「訪問リハ ST」 訪問看護ステーションしずおか 佐々木智加さん
訪問看護ステーションほたるしずおか 松永千穂さん
静岡リハビリテーション病院 小田和弘さん

訪問看護・訪問リハビリの制度的な紹介、活動の報告、事例をお話いただきました。

また、1人職場の多い訪問 ST ではありつつ、多職種の仲間とともに「情報共有」と「発信する」コミュニティ“語 reha”（かたりば）で活動する様子も紹介されました。

II シンポジウム：「摂食嚥下障害の方への ST の関わり」

症例発表

「摂食嚥下障害の方への ST の関わり」 静岡済生会療育センター令和 橋本潤子さん

討議

司会・進行 訪問看護ステーションしずおか 佐々木智加さん

パネリスト

静岡県立総合病院 室津拓也さん

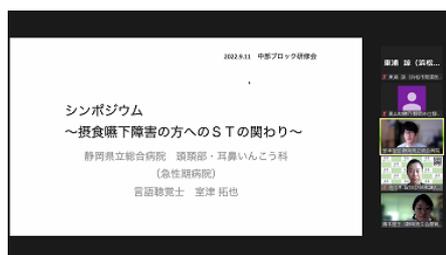
城西クリニック 大石朋子さん

訪問看護ステーションほたるしずおか 松永千穂さん

介護老人保健施設みゆきの苑 金子雪恵さん

各領域から摂食に関する話題として①評価②訓練③環境へのはたらきかけ④リスク管理⑤本人の意思確認の方法の 5 つの視点から報告を行い、医師との連携について、「お楽しみ程度」ってなんだろう等のテーマで意見交換を行いました。

どの領域においても同じように抱えている ST の熱意や目指したいところを共有する、貴重な時間となりました。



Ⅲ アンケート結果

1. 活動報告について（一部抜粋）

- ・手探りの中で訪問 ST を始めている中で、他事業所の方がどのような流れで利用者様とかわかり、多職種と連携し、患者様へかかわっているのかを知ることが出来とても参考になりました。しずケアかけはしなどのシステムをあまり活用できていないと感じているので、今後当事業所でも課題にしていきたいと思います。
- ・退院後 ST はどこでやってもらえるか？という質問をケアマネや地域のリハ職さんからいただく事があります。県士会に入会していない ST さんもいらっしゃるでしょうが、地域の情報として皆で共有できる方法があるとよいと思います
- ・病院から訪看、訪リハなどに繋ぐ方法など連携室と家族だけのやりとりだと病院リハとしてはなかなか踏み込めず繋げていないなと思っていました。必要のある方などもっと地域に繋げていく必要があるなと思いました
- ・退院されたあとの生活を知ることがなかなかないので、在宅での支援の実際が知れてよかった。訪問の先生方が熱心に活動されている様子に刺激をもらった。
- ・実際に訪問に従事しているため伝えることが難しかったが、他事業所の事を知ることができ、今後活かしていきたいと感じた。
- ・訪問リハについてとてもよくわかった。とても魅力を感じ、ぜひ見学してみたいです
- ・訪問リハの算定や加算のことなどあまり馴染まないところまで説明していただき勉強になった。
- ・利用方法も含めて丁寧に説明していただけたので、具体的なイメージを描きやすかった
- ・訪問リハと訪看ステーションの仕事の違いを改めて学びました。
- ・静岡県における訪問リハの現状を知るきっかけになった。

2. シンポジウムについて（一部抜粋）

- ・それぞれの施設での取り組みに興味深く聞いていました。
- ・ガーゼ訓練は、QOLや感覚運動などを考慮すると、とても有意義だと思います。でも、食材によっては肺炎リスクも高いと感じています。だからこそ、事前評価（唾液、呼吸など）や情報収集、共有、説明などが必要ですね。
- ・お楽しみに関して考えることがたくさんあるため、1 人で対応せず多職種連携を図り考えて行くことと本人・家族の意思の尊重が大切だと感じた。
- ・直接訓練やお楽しみなど臨床の中で迷うことがたくさんあります。皆様の取り組み方が聞けて、ガーゼを取り入れるなど試してみたいなと思いました。
- ・共通点、相違点をすることができました。みなさんの熱い思いが伝わってきました。
- ・ガーゼ訓練の例はリスク管理やそれを周囲に理解してもらう苦労などとても共感しました。ST としてこんなことがやりたいと思ってもなかなかどう説明したらわかってもらえるか、悩みながらの毎日です

- ・具体的な症例のお話も伺えて勉強になりました。食べる楽しみは生きる楽しみに直結しますものね。今後も情報交換しながら ST の取り組みが広がるとよいと思います
- ・「お楽しみ程度」の解釈の仕方もいろいろあったが、最終的には「患者さん、そして家族にとってどうか」というところをしっかり見ていく必要があることを改めて認識できた。
- ・色々な場面で ST が活躍している事を知ることができた。病院 ST でももう少し家の生活を考えたアプローチをしないといけないとも反省しました。
- ・時間がなかったのかもしれませんが、会場内からも意見がでると良かったと思います。司会が関連ありそうな施設の方などに当てても良いかもしれません。
- ・ガーゼでの間接訓練を実施しているため、リスク等あれば知りたいです。
- ・もう少しいろいろな話が展開すると良かった。急性期から維持期までひとつのテーマで話すことはなかなかないのでまた行っていくと面白いなと思いました。
- ・それぞれの領域の先生方のお話を聞いてよかったです。時間の関係もあるかと思いますが、参加者の先生方からもご意見やご感想をお聞き出来るとよかったですなと思いました。

3. オンライン開催について

- ① 中部ブロック研修会の今後の形式について…WEB 開催希望が 46%と一番多い情勢に合わせて対応してほしいが 38%、対面開催が良いという方が 1 名であった
- ② ZOOM におけるトラブル…音声途切れは 7 件寄せられたものの、画面共有は問題なく、おおむねスムーズな開催となった

4. 今後の研修について

- ・小児領域で 1 歳半、3 歳検診、就学前検診などで引っかかった子のフォローや施設間の連携などについて
- ・医師を始め他職種に ST を理解した上で活用してもらえるかを話す機会がほしい
- ・症例報告等臨床での取り組み
- ・高齢者の難聴に対する対応等
- ・テーマを決めたグループワーク
- ・他分野共有は良い